

家の蔵書室は当時懐仙閣もしくは懐仙楼と称していた。これら養安院家の蔵書はすでに四散してしまったが、『懐仙楼書目』（内閣文庫所蔵）、『経籍訪古志』所録本、さらに、内閣文庫・宮内庁書陵部・台湾故宮博物院図書館・北京大学図書館などの養安院旧蔵書本を概観し、その質量と流出の経緯の一斑を述べた。

詳細は『漢方の臨床』曲直瀬道三生誕四八〇年記念特集号（一九八七年十二月号）に発表予定である。

（昭和六十二年七月例会）

日本温泉史資料供覧

中村 昭

江戸時代

香川修徳『一本堂葉選統編』

原 双桂『温泉小言』

和気惟亨『微瘡約言』坤

『温泉奇効記』光泉寺

『入湯案内記』草津温泉

『摂津名所図会』有馬郡

明治時代

『豆州修善寺温泉場全図』

浅田栗園『温泉余録』

亀谷 行『函山紀勝』

瓜生政和『教訓洗湯論』

佐藤桜哉『小仙郷』

『諸国温泉一覽』

『上州伊香保鉱泉場名所全図』

西宮藤毅『秋田県温泉のしるべ』

北山居士『信濃温泉誌』

『信濃温泉鹿教湯案内』

篠田仙果『上州伊香保鉱泉図会』

大内青巒『熱海独案内』

有田正誠『宮城県温泉小誌』下

『和倉温泉真景図』附試験報告』

竹窩道人『箱根温泉誌』

大正時代

進藤霸城『塩原名勝記』

『伊豆熱海温泉場全景』二版、三版

成川房幸『道後温泉誌』

鐵道院『温泉案内』

酒井谷平『温泉と疾病』

昭和（戦前）

石川成章『本邦温泉論考』

西川義方『温泉と健康』

藤浪剛一『東西沐浴史話』

鉄道省『温泉案内』昭和三年、十一年

『伊東温泉場全図』

『別府温泉案内図』

石坂洋次郎編『東北温泉風土記』

『大箱根勝地漫画』

『大島奥伊豆情緒漫画』

春木 厚『新編箱根案内記』

(昭和六十二年九月例会)

国際医史学会のお知らせ

国際医史学会 (ISHM) 第三十一回総会が、イタリアの古都ポローニアで左記のように開催されます。

期間 昭和六十三年(一九八八)八月三十日(火)～九月

四日(日)

場所 ポローニア大学医学部

登録料(会員) 四五・五万リラ、(非会員) 四九・四万リ

ラ、(同伴者) 三六・四万リラ、(学生) 七万リラ

(百リラは約一〇円三六銭)昭和六十三年二月二十四日現在。

なお会員はISHM会員のことです)

日程

第一日(八月三十日) 開会式

ポローニア市長の歓迎の辞

第二日(八月三十一日) 研究発表

各時代の人と業績

各世紀の諸国における科学研究団体の交流

学問各領域の交流

その他

第三日(九月一日) 研究発表

解剖学、生理学、病理学、心血管系の臨床知見

その他

第四日(九月二日) ラヴェンナ旅行

第五日(九月三日) 研究発表

神経学と精神病学の臨床と社会的発展

歯科医術と歯列矯正術の技術的、方法的発展

その他

第六日(九月四日) 研究発表

整形外科と形成外科

その他

映画とスライド

総会実行委員会事務局

CONFERENCE SERVICE s.r.l.

Via Tagliapietra 18/b, 40123 BOLOGNA/ITALY

TEL 051-331466 TELEEX 213616 I

なお詳細は、日本医史学会事務局(順天堂大学医学部医史学
研究室内)にお問い合わせ下さい。